

補助制度の見直しの方向性

防犯灯に関する補助金

防犯灯電気料補助金

防犯灯設置事業費補助金

《検討の観点》

- ・ 防犯灯は地域の実情に応じて設置する必要がある。
- ・ 防犯灯は公共性が高く、未加入者も利益を享受している。
- ・ 今後、これまでにLED化された大量の防犯灯の更新が必要になる。

《今後の方向性》

- ・ 防犯灯電気料補助金の補助率の見直しを行う。
- ・ 適正な防犯灯の設置に向け、基準を設ける。

コミュニティ集会施設整備事業費補助金

《検討の観点》

- ・ 老朽化した施設を財政的に維持することが困難になる団体がある。
- ・ コミュニティの様々な活動の場や団体の活動拠点の整備が必要

《今後の方向性》

- ・ 集会施設の解体に対する支援を行う(活動の縮小につながらないよう、解体する施設の代替となる活動場所の確保を条件とする)。
- ・ 集会施設を建て替える際の限度額の見直しを行う。

区町内会助成金

《検討の観点》

- ・ 団体の規模や活動内容により、助成金の活用状況はさまざまである。
- ・ 運営を支えるための財政的支援の継続が必要

《今後の方向性》

- ・ 団体の活動に合わせて柔軟に利用できる区町内会助成金は継続する。